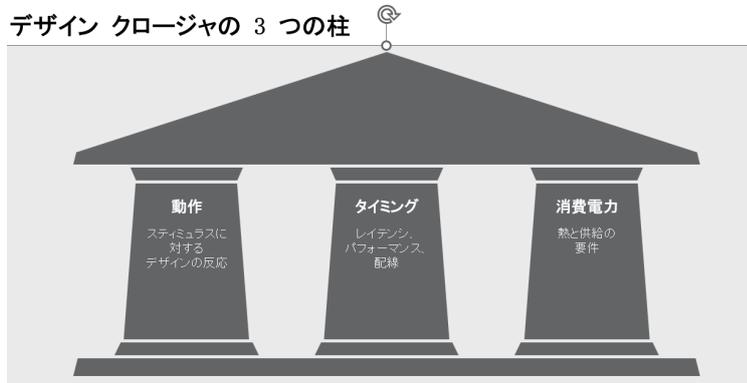


デザインクロージャの 3つの柱（機能クロージャ、タイミング クロージャ、電力クロージャ）に注目して、デザインクロージャをより効率的かつ生産的に達成する方法を学びます。また、機能動作、タイミング、電力を同時に解決して、市場投入までの時間を短縮する方法も学びます。

このコースの重点は次のとおりです。

- デザイン クロージャとは何かを定義し、3つの柱（機能、タイミング、電力）について説明
- 推奨されるコーディング手法
- 初期デザイン チェックを適用と、デザインのタイミング サマリー レポートとメソドロジーレポート
- ベースラインを使用して、デザインがタイミング目標を満たしていることの確認
- ベースライン プロセスで説明されているガイドラインを適用
- さまざまな段階で結果品質 (QoR) 評価を実行して QoR スコアを向上
- インテリジェント デザイン ラン (IDR) を実装して、複雑なデザインの分析とタイミング クロージャの自動化
- 一般的なタイミング クロージャ手法の適用
- Versal SSIT デバイスで SLR クロッシングを最適化
- 電力クロージャとデバイス選択の重要性の確認
- Vivado Design Suite 電力レポート ユーティリティを使用して消費電力の見積もりと最適化を実行
- Versal アダプティブ SoCにおける電力と熱のソリューションを特定
- アーキテクチャ機能を活用して設計の消費電力を改善



シミュレーション波形 [Simulation] → [Behavioral Simulation] を選択する

my_clk -name my_clk -period 5 [get_ports clk_pin_p]

IBUFGDS BUFG

internal_count_reg[2] CE CLR FDCE

目標: 消費電力の削減

スタンドアロン Xilinx Power Estimator 統合 Vivado 消費電力解析

仕様 合成済みデザイン 配置済みデザイン 配線済みデザイン クロージャー 検証